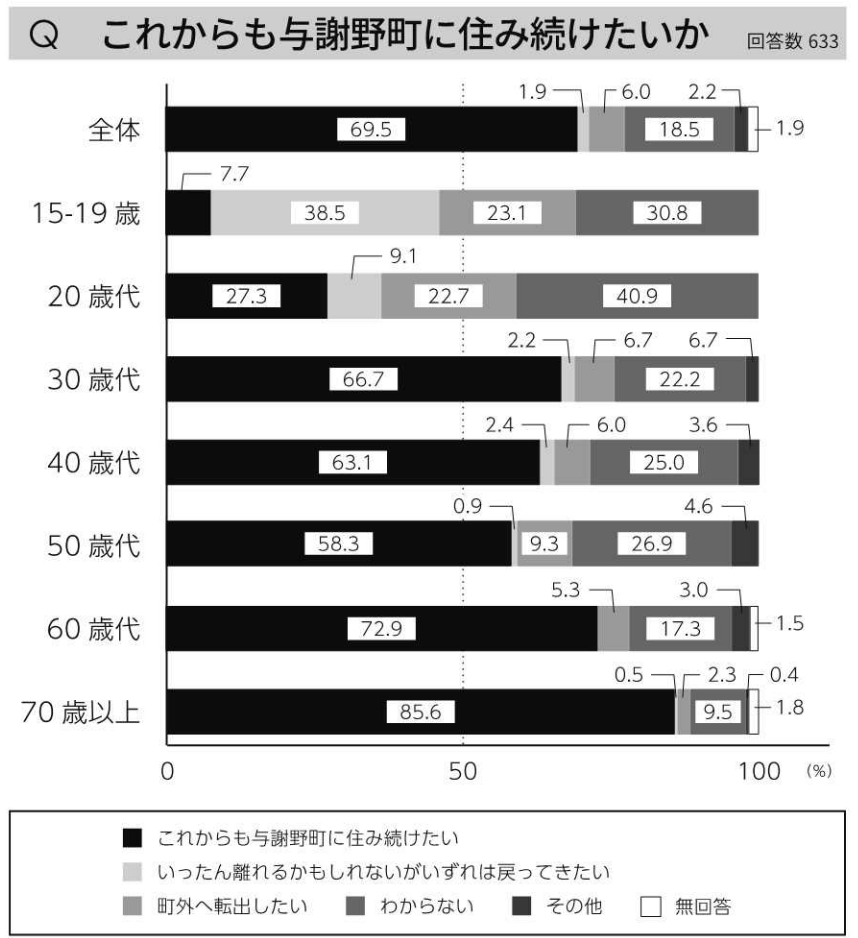


定住意向が後退

「これからも与謝野町に住み続けたい」が69・5%（前回71・9%）、「いったん離れるかもしれないがいずれは戻ってきたい」が1・9%（前回2・2%）と、過去2回（平成29年度、23年度）の調査結果と比較して定住意向が後退しています。「町



外へ転出したい」が15〜19歳で23・1%、20歳代で22・7%と全体と比べて多くなっています。15〜19歳で「いったん離れるかもしれないがいずれは戻ってきたい」が38・5%と前回よりも高くなっており、進学や就職などで離れる可能性がありつつも、いつか戻ってきたいという考えがあることがわかります。

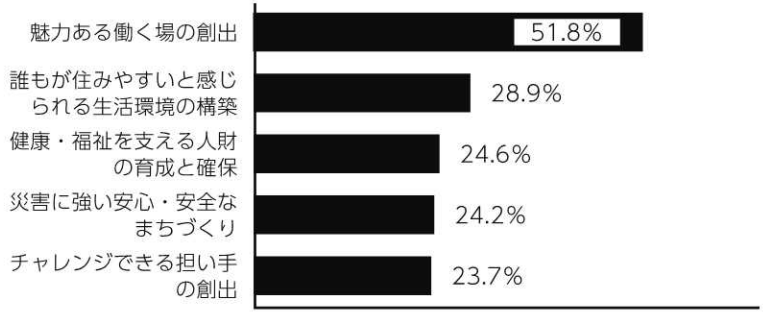
若い世代は「出産と子育て」への関心が高い

特に力を入れるべき施策では、「魅力ある働く場の創出」がもっとも多く、次いで「誰もが住みやすいと感じられる生活環境の構築」となりました。40歳代以下と50歳代以上を比べると、「新たな命の誕生を応援」に大きく違いが出ており、若い世代の「出産と子育て」分野についての

ご協力ありがとうございました

今回のアンケート結果は、住民の皆さんのまちづくりに対する声であることから、これまでに実施してきたタウンミーティング「よさのみらい会議」での対話や総合計画審議会での議論において、貴重な資料として活用しています。皆さんのご協力ありがとうございました。

Q 30年後の与謝野町を考えて、今後、特に力を入れるべき施策 回答数 633

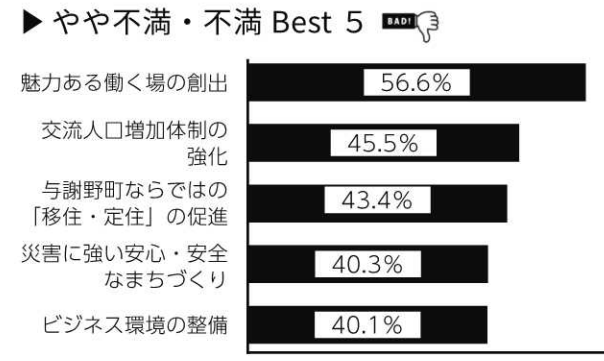
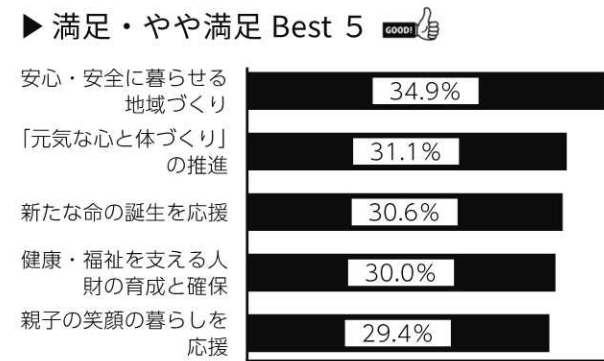


調査結果をホームページで公開中

まちづくりアンケート調査結果のすべては、企画財政課（本庁舎）に設置および町ホームページで公開していますので、ぜひご覧ください。



Q まちづくりの満足度 回答数 633



全世代で「働く場」「移住・定住」が課題

第2次総合計画は、まちの未来像「人・自然・伝統 与謝野で織りなす 新たな未来」を実現するため、「産業と仕事」「交流と発信」「健康と福祉」「出産と子育て」「教育と文化」「自然環境と生活環境」「地域協働と行財政運営」の7つの分野に分け、さまざまな取り組みを行っています。分野ごとに各項目の平均をみると、「出産と子育て」に関する取り組みは、「満足」と「やや満足」を合わせた割合が「不満」と「やや不満」を合わせた割合を上回っています。一方、「不満」と「やや不満」を合わせた割合では「魅力ある働く場の創出」が56・6%と最も多く、次いで「交流人口増加体制の強化」が45・5%、「まちの魅力・人の魅力が生み出す与謝野町ならではの『移住・定住』の促進」が43・4%と続き、「産業と仕事」「交流と発信」の取り組みへの満足度が低い結果となっています。また、若者世代においても同様の傾向がみられます。

一般公募の町民の皆さんが参加する「よさのみらい会議」は、7月の開催に続き、9月25日に知遊館、10月16日に元気館で開催されました。町独自の取り組みや町で活躍する方の事例発表も交えながら、第2回は「地域のつながりで子育てを応援する」、第3回は「人の流れを生むまち」をテーマにワークショップで対話を深めました。

また、関係者の皆さんの元に出向いて、第2次総合計画の見直しについての意見を伺う、お出かけ版の「よさのみらい会議」も開催。これまでに、産業振興会議や商工会青年部、宮津天橋高校加悦谷学舎（3年生）とワークショップを実施しており、今後も子育て世代や福祉ボランティアの皆さんなどとまちづくりについて意見交換を実施します。ワークショップの様子は、町ホームページで一部動画でも配信していますので、ぜひご覧ください。



町ホームページ

よさのみらい会議 進行中



9月26日に開催された宮津天橋高校加悦谷学舎の様子

与謝野町総合計画審議会（谷口知弘会長）では、第2次総合計画の見直しに町民の皆さんの声を反映させるため、7月からタウンミーティング「よさのみらい会議」を開催しています。（第1回よさのみらい会議の様子は、広報よさの8月号参照）